

第4回円空大賞

新宮晋（しんぐうすすむ）

プロフィール

1937年：大阪府豊中市に生まれる

1960年：東京芸術大学絵画科卒業

1960

-66年：イタリア・ローマに滞在、立体作品を発表し帰国

1967年：第2回現代日本彫刻展で宇部市野外彫刻美術館賞受賞

1971

-72年：ハーバード大学視覚芸術センター客員芸術家

1979年：第4回吉田五十八賞受賞、第8回現代日本彫刻展で国立国際美術館賞及び兵庫県立近代美術館賞受賞

1986年：横浜ビエンナーレ野外彫刻展大賞受賞、第18回日本芸術大賞受賞

1988年：ソウルオリンピック記念国際彫刻シンポジウム招待

1989年：第6回ヘンリー・ムーア大賞展特別優秀賞受賞

1994年：兵庫県文化賞受賞

1995年：大阪芸術賞受賞

2000

-01年：世界の僻地を巡回するプロジェクト「ウィンドキャラバン」を開催

2002年：第43回毎日芸術賞特別賞受賞、紫綬褒章受章

2003年：第20回現代日本彫刻展大賞受賞

2006年：個展「呼吸する彫刻」（ジャンヌ・ビュッシェ画廊・パリ）



選評：選考委員長梅原猛

「円空大賞」に選ばれた新宮晋氏は幾多の国際的な大賞に輝く芸術家であるが、われわれはここで新宮氏を甚だ土着的でしかも創造的な芸術家として選んだのである。日本では昔から、芸術を愛する人を「風流な人」と言ってきた。風流な人というのは風の流れを知る人である。世界においてこれほど風を愛する国民は他にあるまい。この風の流れの美をみごとに現代彫刻において表現しようとしたのが新宮晋氏であろう。

新宮氏の作品をみると実にさまざまな形の彫刻があるが、それらはすべて風の流れを利用してプロペラなどが軽快に回り、現代人が忘れていた風の美を人々に思い起こさせる。新宮氏は、世界の人に風の流れの意味を知らせる布教師であるといつてよい。



大地の翼 (2005年制作)
フランス・ボルドー



海のシンフォニー (2005年制作)
イタリア・マリーナ・ディカメロータ



宇宙に捧ぐ (2001年制作)
東京・銀座



時のシルエット (2003年制作)
宇部市



太陽のあいさつ (2005年制作)
韓国・アサン